

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
23202	栄養カウンセリング実習 Nutrition counseling practice	熊崎 稔子	専門	1	必修	2年後期
科目の概要						
<p>栄養士として、人々の生涯にわたる健康を保持・増進し、生活習慣病の予防に向けた提案をするにあたり、対象者の健康状態や食行動が望ましくなるように変容させ、QOL(生活の質・人生の質)の向上に貢献できるようにする。そのために、「栄養カウンセリング」で得たカウンセリングの知識や技術の理論を、実践の場ではいかにせられる技術を修得する。様々なケースを設定し、ロールプレイを取り入れてカウンセリングを行い、その後、互いに評価し、技術の向上を図る。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 受容と傾聴を実践することで身につけ、さらにクライアントの気持ちを理解する。</p> <p>② 誤った栄養教育を見て、誤った点に気づき、改善できる力を養う。</p> <p>③ 様々なケースを設定してカウンセリングを計画・実施し、他の学生から評価を受け、技術の向上を図る。</p>			<p>① 受容と傾聴を実践することで身につけ、さらにクライアントの気持ちを理解することができる。</p> <p>② 誤った栄養教育を見て、誤った点に気づき、改善できる力を身につける。</p> <p>③ 様々なケースを設定してカウンセリングを計画・実施し、他の学生から評価を受け、技術の向上に努めることができる。</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	カウンセリングに関する知識や技術について、教科書・文献などで、自己学修することができる。カウンセリング技術の修得のために自ら練習をすることができる。日常生活において、場面に応じて正しい言葉遣いに心がける。				
	働きかけ力					
	実行力	対象者に適したカウンセリングの手順や方法を考え、確実に目標に向かって進めることができる。				
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力	決められた時間内で、カウンセリングを的確に実施することができる。計画通り進まない時は、計画を見直し修正できる。				
	創造力	対象者を理解し、対象者の心理的な距離を縮めるために、いろいろな方向からアプローチすることができる。				
チームで働く力	発信力	支援計画に従って、対象者に寄り添った支援となるよう、解りやすい支援の仕方(声の大きさ、スピード等)を工夫することができる。				
	傾聴力	対象者の相談内容を聴き取り、即座に正しくまとめ、相談内容を対象者に確認することができる。他のカウンセリング(演習)を見て、批判ではなく、よりよいものになるように自分の意見を述べるすることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	遅刻、私語、授業中の途中退室、授業に無関係な行動など、授業進行に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進められるようにする。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:「フローチャートで学ぶ栄養教育論実習」橘ゆかり・森美奈子編著、建帛社(栄養教育実習で使用)</p> <p>「N ブックス 栄養指導論」相川りゑ子編著、建帛社(栄養教育で使用)</p> <p>参考文献:授業の中で適宜資料を配布(文献・新聞記事等)</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連 :栄養学、食品学、食事療法論、栄養教育</p> <p>関連する資格 :栄養士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>栄養や病態の知識をもとに、上手く相手の行動変容を導く技術が必要となる。そのために基礎知識を、わかりやすい言葉で説明できるようにしておくこと。</p> <p>健康関連の情報を新聞や専門雑誌などから収集し、スクラップする習慣をつけるとよい。</p>			<p>授業内容を理解するための努力をし、分からないことは質問すること。</p> <p>配布資料が多いため、この科目専用のファイル(A4)を用意すること。</p> <p>社会人基礎力の規律性を守ること。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト				
レポート	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリングのトレーニングをし、トレーニングによる“気づき”をまとめる。 ・設定したケースに対して、カウンセリング担当とクライアント担当なり、有効な技法、改善点を話し合い、レポートにまとめる。
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)	40	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・設定した7ケースに対して、栄養アセスメントができ、クライアントに寄り添った支援ができてきているか評価する。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	<p>「主体性」カウンセリングに関する知識について、自己学修ができること。 日常生活の中で、カウンセリングの受容や共感が繰り返されていることに気づく感性を養うこと。</p> <p>「実行力」いつまでに支援計画、媒体等を完了するかの手順や方法を考え、確実に目標に向かって進めることができている。</p> <p>「課題発見力」「創造力」対象者の身体的・栄養的な特徴を理解したうえで課題を見出し、生活の質の向上につながるカウンセリングのあり方を考えることができる。</p> <p>「計画力」支援計画、資料等のレポートや、実際の支援等において、期日、時間内に終えることができるよう手順や役割分担を考えて進めることができている。</p> <p>「発信力」質問に対する回答や、自分の意見を聞き手に分かるように発することができること。</p> <p>「傾聴力」話を聞く時は、うなずきやあいづちをしながら聞くこと</p> <p>「規律性」遅刻、私語、授業中の途中退室、授業に無関係な行動など、授業進行に支障をきたす行動をしないこと。 グループ活動への非協力的な態度は減点(5点)する。</p>
		②	✓	
		③	✓	
その他		①		<ul style="list-style-type: none"> ・2/3以上の授業に出席し、レポートを提出した学生のみ評価の対象とする。 ただし、授業に出席することは当たり前のことなので、出席点は加味しない。
		②		
		③		
総合評価割合	100			

【達成目標の目安】

到達レベル S(秀)及び A(優)の基準	到達レベル B(良)及び C(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング技法の基礎である受容と傾聴を理解し、カウンセリングの場で実践することができる。 ・カウンセリング役とクライアント役を担当することで、それぞれの気持ちを理解できている。 ・対象者をどのように支援し、行動目標設定に導くことができるかの支援計画を構築できている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カウンセリング技法の基礎である受容と傾聴をおおむね理解し、カウンセリングの場で実践することができる。 ・カウンセリング役とクライアント役を担当することで、それぞれの気持ちをおおむね理解できている。 ・対象者をどのように支援し、行動目標設定に導くことができるかの支援計画をたてることができる。

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
1週 /	◆オリエンテーション ◆カウンセリングにおける望ましい態度 ◆初回面接でのかかわり方	演習	クライアントと信頼関係の築き方を理解する。	予習:予習:「栄養カウンセリング」の内容を復習する。 復習:授業内容をプリントで復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2週 /	◆カウンセリングにおける単純受容、伝え返し	演習	クライアントに対して熱心に聴く態度を身につける。 クライアントの話した内容を正確に捉えることができる。	予習:カウンセリングの基本について 復習:授業内容をプリントで復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
3週 /	◆気持ちを表現するためのウォーミングアップ ◆カウンセリングにおける気持ちの受け止め方	演習	クライアントに気持ちを表現してもらうための手法を学ぶ。 気持ちの受け止め方を体感し、カウンセリングに役立てる。	予習:カウンセリングの基本について 復習:授業内容をプリントで復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
4週 /	◆クライアントの気持ちの理解1	演習	クライアント役を体験することで、クライアントの気持ちを理解し、カウンセリングに役立てる。	予習:クライアント役になるため、相談内容の概要をまとめる 復習:授業内容をプリントで復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
5週 /	◆クライアントの気持ちの理解2 カウンセリング時間を長くし、クライアントの気持ちを大切にされた対応	演習	カウンセリング実習の振り返りシートを作成し、グループで検討し、カウンセラーとしてのかかわりの良かった点と課題を明確にすることができる。	予習:クライアント役になるため、相談内容の概要をまとめる 復習:授業内容をプリントで復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
6週 /	◆クライアントの話の要約 クライアントの話から、要点と感情を読み取る	演習	クライアントの伝えたい内容と感情を理解することができたか否か。	予習:クライアント役になるため、相談内容の概要をまとめる 復習:授業内容をプリントで復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
7週 /	◆カウンセリングの質問する力量 開かれた質問と閉ざされた質問による、カウンセリングの流れの違い	演習	開かれた質問と閉ざされた質問による、カウンセリングの流れやクライアントの気持ちを理解する。	予習:開かれた質問と閉ざされた質問について 復習:授業内容をプリントで復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
8週 /	◆栄養教育の実践1 クライアントと信頼関係を築くことができなかった事例を改善する	演習	クライアントに信頼される栄養教育を実践することができる。	予習:1～7週の授業内容を練習する。 復習:誤った栄養教育の改善を見直す。	60	

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及び フィードバック方法	到達レベル C(可)の 基準	予習・復習	時間 (分)	能力名
9週 /	◆栄養教育の実践2 クライアントが無意識に 栄養教育を拒否してしま った例を改善する	演習	クライアントの気持ち を受容することで、カ ウンセリングに入れる ことを理解する。	予習:1~8週の授業内容 を練習する。 復習:誤った栄養教育の改 善を見直す。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
10週 /	◆栄養教育の実践3 クライアントに共感せ ず、追い込んでしまった 例を改善する	演習	クライアントに共感す ることで、栄養教育が スムーズにすすめられ ることを理解する。	予習:1~9週の授業内容 を練習する。 復習:誤った栄養教育の改 善を見直す。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
11週 /	◆栄養教育の実践4 子どもの偏食、思春期の ダイエットの栄養教育に カウンセリング技法を取 り入れる。	演習	子どもの偏食、思春期 のダイエットの栄養教 育を効果的に行うこと ができる。	予習:子どもの偏食、ダイ エットの問題点について調 べる。 復習:授業内容をプリントで 復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12週 /	◆栄養教育の実践5 単身者の偏食、食欲の ない高齢者の栄養教育 にカウンセリング技法を 取り入れる。	演習	単身者の偏食、食欲 のない高齢者の栄養 教育を効果的に行うこ とができる。	予習:単身者の食事の問題 点、高齢者の食事の問題 点について調べる。 復習:授業内容をプリントで 復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13週 /	◆栄養教育の実践6 糖尿病、高血圧症など 栄養教育にカウンセリ ング技法を取り入れる。	演習	糖尿病、高血圧症など 栄養教育を効果的に 行うことができる。	予習:糖尿病、高血圧に関 する検査数値や食事療法 について調べる。 復習:授業内容をプリントで 復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14週 /	◆栄養教育の実践7 脂質異常症などの栄養 教育にカウンセリング技 法を取り入れる。	演習	脂質異常症などの栄養 教育を効果的に 行うことができる。	予習:脂質異常症に関する 検査数値や食事療法につ いて調べる。 復習:授業内容をプリントで 復習する。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	◆栄養カウンセリングの まとめ 半期の授業内容で、身 についた技術、自身の 行動変容などの成果を 発表	講義・成果発表	栄養カウンセリングの 知識・技術を修得して いる。	予習:半期の授業内容を復 習する。 復習:「栄養カウンセリング」 「栄養カウンセリング実習」 の総まとめをする。	60	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 規律性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力